11月
行事予定

今月のご縁日

御畳講

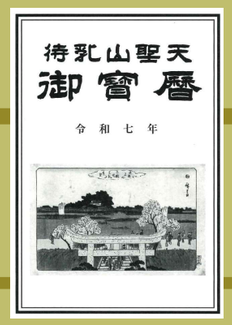
おたたみこう

11/20 木曜日 11:00~

講金：2,000 円

今年も本堂の畳替えにあわせ、恒例の御畳講を執り行います。
皆様からの講金によって畳替えが続けられております。法要では家内安全・諸願成就を祈る大般若転読を奉修いたします。
今年は 10 月 26 日・27 日の二日間、畳職人が作業に入り、新しい畳へと敷き替えられます。張り替えが終わると、境内には青畳の香りが漂い、新年を迎えるにふさわしい清々しさが感じられます。





お申込みの方にはお守と
ご宝暦をお授けいたします。
＊写真は昨年お授けした暦です。

参拝は通常通り可能ですが、作業中は立ち入りの制限などでご不便をおかけする場合があります。どうぞご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。



お申込みの方には写経用の
小筆をお授けいたします。

写経供養会

しゃきょうくようえ

講金：2,000 円

11/9 日曜日 11:30~

写経の会で一年を通してお納めいただいたお写経を、本堂のご宝前にて供養する年中行事です。皆様の願いが届くよう、大般若法要にて祈念いたします。
また、五十巻ごとに節目の表彰も行っており、該当される方には事前にお知らせいたします。
当日は、開始時刻までに本堂にお集まりください。
併せて、写経の会も平常通り開催いたしますので、どうぞご参加ください。

月間行事

朝まいり会

11月1日~7日　午前8時~8時半　会費：500円也

皆様と一緒に「大聖歓喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日参加されなくても１週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会

11月9日（日）　午前10時・午後1時　会費：500円也

お経を一文字一文字丁寧に写すことにより仏様の功徳をいただけます。

日曜勤行

11月9日（日）　午前9時　参加費無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

合同大般若法要

11月25日（火）　午前11時　法要料：5000円也

皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

坐禅の会

＊予約不要になりました

11月22日（土）　午前9時半〜10時半　会費：500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

ライブ配信のご案内

御縁日法要・合同大般若法要の
ライブ配信を行っております。　（配信QRコード）

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。

いちょう

待乳山聖天

2025年11月号
令和7年10月20日発行/No,395
発行所：待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1
☎ 03-3874-2030

「待乳山の本堂」

総務部長　杉本真海



現在の本堂は、昭和 28 年に完成した鉄筋コンクリート造で、建築様式は東照宮などと同じ権現造です。再建当時の新聞によれば、コンクリート造で純日本風の権現造は他に例がなく、その出来栄えが注目されたとあります。戦後の建物ですが、本堂に足を踏み入れると、古い歴史を持つ寺院にも劣らない厳かな雰囲気があります。この本堂が建つまでの歴史をたどると、大きな困難の連続でした。

江戸時代に建てられた本堂は大正 12 年の関東大震災でも失われており、昭和 12 年に本堂を再建、昭和 19 年に落慶法要が盛大に行われました。

戦況が悪化し空襲の危険が高まる昭和 18 年 10 月ごろ、ご本尊をどう守るかの重大な決断を迫られました。昭和 49 年雑誌「歓喜」第 19 号の記事によると、本山の浅草寺に倣い、極秘裏にご本尊のお厨子を厚さ約 3 センチのコンクリートの筒に納め、断腸の思いで本堂の真下深くに埋めたとあります。

そして昭和 20 年 3 月 10 日の空襲で本堂が炎上し、当時副住職の平田真徳師が御前立の十一面観音様やその他の仏像などを防空壕へ運びましたが、防空壕も被害を受け、多くが焼失しました。
しかし本堂の真下深くに埋められたご本尊は、後に仮本堂を建てる際に掘り起こされ、無事が確認できました。当時の御本尊を守る判断が、その後の待乳山の驚異的な復興の大きな原動力になったことでしょう。

昭和 20 年 8 月、浅草寺伝法院の一室を借りて浴油祈祷の受付を再開。翌昭和 21 年 9 月に仮本堂が完成しました。昭和 24 年には本堂再建地鎮祭が行われ、浅草寺貫主、東京都知事、台東区長や都議を来賓に迎え、約 200 名もの信徒が参集しました。そして昭和 28 年、現在の本堂が完成。ご本尊の仮本堂から新本堂への遷座夜儀には多くの信徒が駆け付け、その夜の様子は複数の新聞で報道されました。その後も数々の困難を乗り越え、昭和 36 年には新本堂落慶記念法要を盛大に執り行い、ついに再興を果たしたのです。

待乳山は推古天皇 3 年（595 年）の開山とされ、1400 年以上の歴史を持つ古刹です。この二度の焼失からの復興を支えたのは、当時の僧侶たちと、皆様の先輩方にあたる信徒の信仰の力と聖天様の御加護にほかなりません。待乳山の本堂は単なる建築物ではなく、開山から続く私たちの信仰の活力と聖天様のご威徳の結晶なのです。
本堂に入る際は、この特別な信仰の地に立っていることを思い起こし、緊張感と安心感をもってお参りください。そうすれば、1400 年培われてきた信仰の力と聖天様のご加護により、より聖天様を近くに感じ、いっそう深いご利益がいただけるでしょう。

ご報告

開山会聖天まつり特別祭盛大に執行

9月20日（土）、秋晴れの空の下、開山会聖天まつりが盛大に執り行われました。朝から多くの方々が参集し、境内はいつも以上に熱気に包まれていました。お神輿の堂下げに始まり、10:30より練行列は鳶の錫杖を先頭に南門大玄関を出発しました。
散華を撒きながら僧侶、金龍の舞と続き、山門をくぐって境内を練り歩き、本堂を一周。最後尾には金龍の舞が加わり、きらびやかな装束と太鼓の響きが参詣の皆さまを魅了しました。続いて本堂では厳かな大法要が執行され、多くの方が心静かに手を合わせました。
その後は隣接する聖天公園から金龍の舞、鳶の木遣りと共に神輿が勇壮に担ぎ出され、旧聖天町・旧聖天横町を威勢よく巡行。沿道からは声援や拍手が送られ、地域の一体感が広がりました。さらに山谷堀広場では木遣りや梯子乗りといった伝統芸能の奉演が披露され、力強い掛け声や軽やかな演技に観客は大きな歓声と拍手を寄せました。
境内も広場も多くの人々で賑わい、非常に活気に満ちた一日となりました。こうした盛大な催しを無事に執り行うことができましたのも、準備から当日の運営までご尽力くださった町会をはじめ各関係者の皆様のご協力あってのことです。改めて心より感謝申し上げます。


「御霊入れの儀」


「堂下げの儀」


「神輿が本堂前から境内を抜け聖天公園へ」

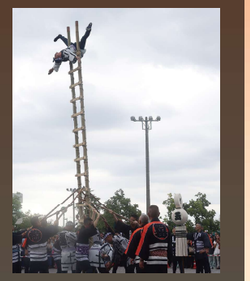

「開山会法要、僧侶が散華を撒きながら境内を練り歩く」


「金龍の舞が僧侶の後に続く」


「法要終了後、神輿が旧聖天町・聖天横丁を渡御」


「山谷堀広場にて金龍の舞の奉演」


「浅草芸者衆によるお囃子屋台」


「第五区の鳶による梯子乗り」

浮世絵展大盛況のうちに閉幕

9月19日から開催しておりました「待乳山浮世絵展」は、10月9日をもちまして無事終了いたしました。会期中は連日多くの方々にお越しいただき、境内も展示会場も賑わいを見せました。
今回の展示では、江戸の町の活気や浅草の賑わい、そして待乳山の風情を描いた浮世絵や資料を通して、往時の息吹を感じていただきました。ご来場の皆さまも熱心にパネルや展示物等をご覧になられておりました。今後も地域に根ざした文化発信に努めてまいりますので、どうぞご期待ください。


会期中に行われた
ギャラリートーク
多くの参加者が見え
大いに盛り上がりました

ご奉納

加藤典子様よりご祈祷に用いる浴油壇の左右の幕をご奉納いただきました。心より感謝申し上げます。



七五三参りのご案内　御志納金：5,000円也

当山では十月から十一月を中心に七五三参りをご予約にて承っております。
お参りは一家族ごとに本堂内陣で行者様から直々にお加持を授けられます。またお子様のお名前が入りましたお守りとお供物をお授け致します。
特に土日の法要はご希望の方が多い場合がございますので、お早めに寺務所にてお申し込みください。



ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。
当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。
またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壱万二千円（一週間）
浴油祈祷 四千円（一週間）
華水供 六百円（一日）

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。
百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。
大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。
自動車加持 法要料 壱万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。